

「ロボットトライアスロン」 出場にあたって

メカトロニクス研究室 藤井 康平

メカトロニクス研究室では、室蘭工業大学発のロボットトライアスロンというロボット競技大会に第2回目から参加しています。この競技は、アピール走行でマシンの特徴や性能を紹介し、本走行で3種目のタイムを競います。そして、その総合得点で優勝を決めます。その他にもタイムの1～3位や、アピール走行時のお客さんによる投票で技術、アイディア、デザイン、プレゼンの各賞が選ばれます。去年まで、本走行は自律マシンによるライントレース、スラローム、風船割を3分以内にクリアするという形でしたが、今年はスラロームの変わりに簡単な迷路を走るということになりました。

製作段階では順調だったマシンも、大会前日まで故障や誤作動が数回あり、部品を取り替える等の問題がありましたが、10月2日に本学で行われた札幌大会では、良い結果を残すことが出来ました。

同窓会のご援助のおかげで、デザイン的にも凝ったマシンが製作できました。本当にありがとうございました。



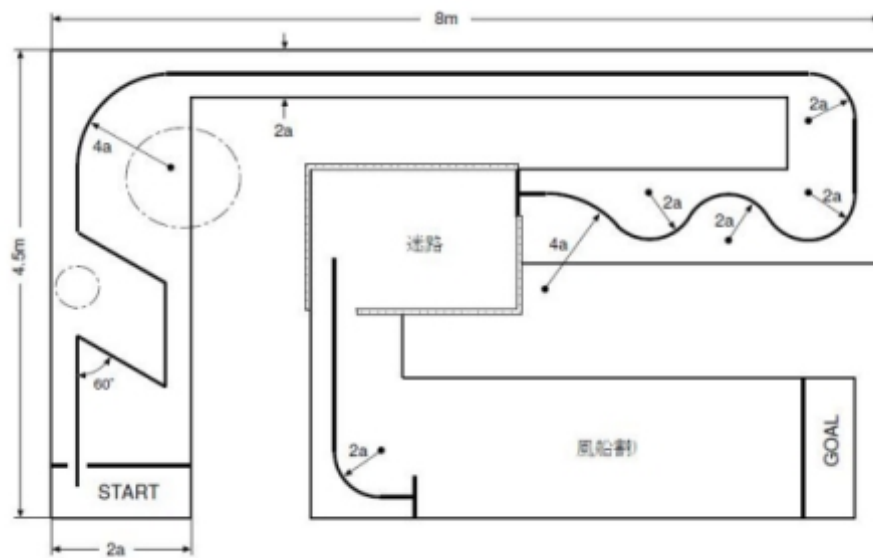
10月2日に行われた札幌大会では、メカトロニクス研究室から3台出場し、3台中1台が完走、そのマシンがデザイン賞をもらうことが出来ました。



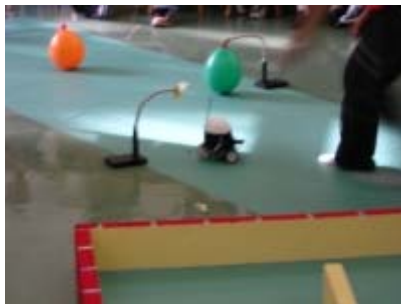
<<コーナー>



<<迷路>



<<図 コース概要>>



様々なデザインのロボットが出場し、各々が考えたアイディアで迷路や風船を攻略していきます。

<<風船割り>